

◎アリナミンF糖衣錠 [内], ○アリナミンF注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 フルスルチアミン塩酸塩 Fursultiamine Hydrochloride 【分類】 ビタミンB1製剤

【単位】 ◎25mg/錠, ○25mg/A [10mL], ○100mg [20mL]

【常用量】 ■内服: 25~100mg ■注射: 25~100mg/日

ウェルニッケ: 600~1000mg/日

【用法】 ■内服: 分1~3 ■注射: 3分以上かけて静注

【透析患者への投与方法】 VB1として30~35mg/日の投与が望ましい (Kidney Int 43: 1319-28, 1993)

【その他の報告】透析患者, 末期腎不全患者ともに血球および血漿中のフリーおよびトータルVB1濃度は低下しており補充の必要性が示唆される (Przegl Lek 53: 423-6, 1996)

透析患者の血漿VB1濃度は全患者で欠乏していないため, 水溶性ビタミンを透析患者に維持投与する必要はない (Nephron 42: 41-6, 1986)

HD患者のウェルニッケ脳症にVB1の500mg/日投与を行い意識レベルの改善を認めた症例 (生方政光, 他: 透析会誌 47:217-22, 2014)

ウェルニッケ脳症に静注100mg/日を10日間使用した症例 (中村俊文, 他: 透析会誌 48: 243-8, 2015)

【保存期 CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】細胞内でビタミンB1に還元し, エステル化されてカルボキシラーゼを生成する. 神経組織, 血液, 髄液をはじめ諸臓器へ高濃度に移行し, 体内貯留性もよい.

【主な副作用・毒性】過敏症, 悪心, 胸やけ, 胃痛, 胃部不快感, 下痢, 口内炎

【吸収】VB1は吸収不良症候群を除き, 直ちに消化管から吸収される. チアミンは主に十二指腸で吸収される. 正常な消化管吸収であればチアミン経口の1日の最大総吸収量は5~15mgで, 食物とともに投与すると上昇 (U)

【代謝】肝代謝 (U) 細胞内で速やかに非酵素的にビタミンB1に還元した後エステル化され, 結合型B1 (コカルボキシラーゼ) を生成 (1)

【排泄】腎 (ほぼ完全に代謝物として) 1日の必要量以上の過剰分は未変化体および代謝物として尿中に排泄される (U)

チアミンはOCT2/MATE1による尿細管分泌経路のマーカーになりえる (Ma Y, et al: Biopharm Drug Dispos 2024 PMID: 38305087)

【蛋白結合率】ほとんど結合しない (1)

【Vd】データなし (1)

【MW】435.00 [塩酸塩]

【透析性】ダイアライザー前後では除去される (1) が, 組織移行性が高いと思われるため効率的ではないと思われる (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない 【O/W係数】27.6 [1-ブタノール水系, pH6.62] (1) 【pKa】5.6 (1)

【備考】効果が現れないのに漫然と長期間使用しない.

【更新日】20240327

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。